

島根県に多い膵臓癌の撲滅をめざして

Control of Pancreatic Cancer

島根県に多い膵臓癌の撲滅をめざして

Control of pancreatic cancer

グループ 紹介

研究代表者：本間良夫 (医学部・教授)
共同研究者：藤田委由 (医学部・教授), 田辺 剛 (医学部・准教授), 森山一郎 (医学部・助教),
秋元美穂 (医学部・助教), 山口奈津 (プロジェクト推進機構・研究員)

Leader : Yoshio Honma (Faculty of Medicine, Professor)
Yasuyuki Fujita (Faculty of Medicine, Professor), Tsuyoshi Tanabe (Faculty of Medicine, Associated Professor), Ichiro Moriyama (Faculty of Medicine, Assistant Professor), Miho Akimoto (Faculty of Medicine, Assistant Professor), Natsu Yamaguchi (Organization for the Promotion of Project Research)

概 要

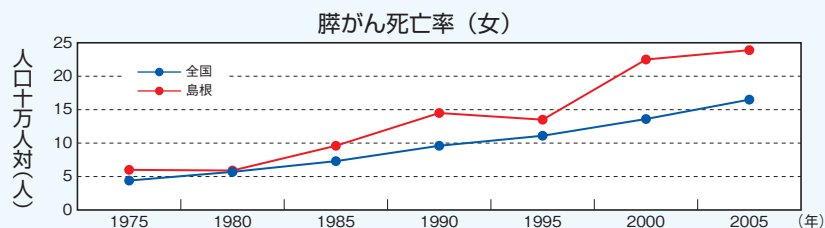
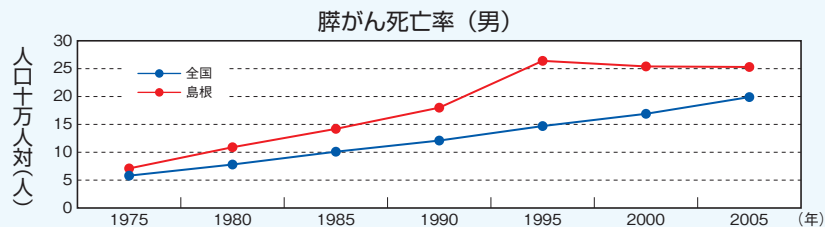
島根県で多い膵臓癌について、疫学的に詳細に調べ原因を考察し、その結果を予防に生かします。また膵臓癌の早期発見や治療法の改善につながる研究を進め、総合的に膵臓癌の撲滅をめざします。

Shimane has much pancreatic cancer. To control pancreatic cancer, our research focuses on epidemiological study, clinicopathological analysis, and the development of new therapeutic strategies for pancreatic cancer.

特 色 研究成果 今後の展望

膵臓癌の死亡率は年々増加傾向にあります。特に島根県においては男女ともずっと高率を続けています。県内地域におけるその動向について明らかにしつつあります。膵臓癌は、島根地方に特徴的に多い疾患であるとともに難治性の癌ですので、予防・診断・治療の各方面から取り組み改善していくことが急務です。今後の展開としては、疫学研究をはじめとし基礎的研究・臨床的研究をさらに進め、医学部・附属病院のみならず他学部・他大学と共同して、膵臓癌の予防・診断・治療の改善を行ないます。

島根県の膵臓癌死亡率



悪性新生物死亡統計 人口動態統計特殊報告 厚生労働省大臣官房統計情報部編 平成13年5月発行
悪性新生物死亡統計 昭和47-59年 人口動態統計特殊報告 厚生省大臣官房統計情報部編 昭和61年3月発行
人口動態統計 平成9年~平成18年 厚生労働省大臣官房統計情報部編

今後の展開

